



プールの季節！夏本番はもう目の前！

6/21 有住小学校フリー参観日「プール開き」

6月21日、有住小学校でプール開きが行われました。この日はフリー参観日ということで、見学に訪れた父兄らが見守る中、この日を待ちわびた児童が時間を忘れて、プールを楽しみました。



6月の主な内容

- P 2 「防災」を考える
- P 4 東北横断自動車道 遠野住田～遠野間の整備に着手
- P 6 まちの話題『SUMITA うおっちゃん』
- P 8 6月議会
- P 9 松くい虫被害防止への協力について
- P 10 マナビイ通信・地域住民活動情報
- P 12 小中学生の医療費を助成
- P 14 お知らせ ほか

## 1. 地域防災を象徴する組織「消防団」



**消**防団は、地域の防災に欠かせない重要な存在です。東日本大震災の際も、多くの団員が被災地で捜索活動などにあたりました。現在、住田町消防団は第一分団から六分団まで、総勢379名の

団員が所属し、それぞれが日常の生活の中で仕事などをしながら、有事の際には現場へ向かい、消火活動や救助活動にあたっています。震災以降、消防団の重要性が再認識されており、地域防災の象徴として、今後の活動が期待されています。



私たち消防団に必要なもの、  
「**勇気**」、「**自信**」、「**誇り**」

住田町消防団  
団長 紺野 博 さん  
(上有住字中沢)

消防団は、有事の際の消火活動や人名救助活動など、重要な使命を課せられた組織です。東日本大震災では、

他市町村の消防団員がわが身を犠牲にして、住民の避難誘導にあたったという話も聞きました。消防団員として素晴らしい行動なのかもしれません。しかし、本来はあってほしくない状況だと私は思います。団員には、いかなる状況の災害でも、自分の身を守るよう、日頃の訓練にあたるよう、日頃の訓練からよく考え、臨んでほしいです。23日の訓練では、避難経路の確保などに課題が残りました。しかし、訓練で課題が見つかることは決して悪いことではありません。重要なのは、その課題を克服し、来るべき実際の災害時で、迅速かつ的確に行動することなのです。

「防災」を考える

今こそ、  
防災の心を



## 2. 変わり始める「自主防災組織」



**自**主防災組織は、各地区公民館を基準にして、町内に22団体組織されています。これまで、各地区の防災組織における自主的な防災活動はほとんど行われていませんでした。

しかし、東日本大震災を機に、自主防災組織の意識は確実に変わってきています。地域を自らの手で災害から守るため、組織として一体何ができるのか、自分たちで考え、行動しようとしています。



地域の高齢者の顔を見に行く、  
何気ない行動も防災につながる

八日町自主防災組織  
代表 熊谷 新一郎 さん  
(上有住字和田野)

八日町自主防災組織では、有事の際に迅速な避難誘導などができるよう班分けを行い、災害に備えています。

また、地区の民生委員と連携して、独居老人や高齢者世帯の状況を把握していますが、その情報を地域全体で共有できていないので、その点は今後の課題だと思います。23日は、地域住民も多数参加し、班ごとの安否確認や避難訓練など、緊張感を持って臨み、防災組織として迅速に行動することができました。今後は、地域の防災体制のさらなる強化のため、隣接した地区と協力体制が構築できないか検討していきたいと思えます。せっかく同じ町で暮らしているのですから、地区を越えてお互いが助け合える環境がきつと作れるはずですよ。

**平**成23年3月11日に発生した東日本大震災から2年が経ちました。あの日は、「災害は、いつ、どのような形で起きるかわからない」という言葉の意味を胸に刻む一日となりました。本町では、震災の後方支援策として、住田型応急仮設住宅の建設をはじめ、被災自治体への職員の派遣、ボランティアやNPO法人に対する公共施設の開放など、さまざまな形で支援を続けてきました。そして被災地は今、復興へ向け一歩一歩前へ進み、少しずつですが、かつての賑わいを取り戻そうとしています。

**町**では、6月23日に台風による大雨、強風で土砂災害や水害が発生したとの想定で総合防災訓練を実施し、昨年を上回る町民2,156人が参加しました。訓練は、ハザードマップを使用した避難や、自主防災組織による安否確認、倒壊家屋や被災車両からの救出など多岐にわたり、行政をはじめ、消防団や地域住民が、それぞれの思いと責任を胸に訓練に臨みました。「あの日」を境に、町全体の防災意識は確実に向上し続けているのです。

## 3. 防災計画の見直し、災害に強い町へ

**東**日本大震災の教訓を踏まえ、町では地域防災計画の見直しを進めています。見直しにあたっては、町民への情報伝達体制や、食糧や生活用品などの備蓄、避難所設備との連携など、これまでの計画で不十分だった項目について、点検がなされており、9月末をめどに公表することとしています。また、災害発生時に対策本部が設置される役場新庁舎の建設や、避難所に指定される公共施設への太陽光発電システムの整備、さらには災害時の広域連携強化を目的とした愛知県幸田町との「災害時の相互応援協定」の締結など、災害に強い町づくりを目指し、着実に体制の整備を進めています。

町民の皆さんも、日頃から防災の心を忘れずに行動してください。私たち全員の手で住田町を災害から守りましょう。

皆さんは、災害に備えて何か対策をしていますか？東日本大震災を機に、本町でも行政や消防団、自主防災組織などが一体となり、町全体で防災意識の向上が図られてきています。ここでは、町の防災対策を紹介するとともに、本町の防災活動に携わる方々の想いをお伝えします。

行政や消防団の力だけではどうすることもできない場合があります。しかしながら、町民の皆さん一人一人が日頃から高い防災意識を持ち、行動することで、被害を最小限に抑えることができます。



日本一の地域づくりの拠点として  
下有住地区公民館が落成



▲関係者による除幕セレモニーの様子

5月26日、下有住地区公民館（金野純一館長）の落成式・祝賀会が行われ、地域住民や町関係者など約130名が出席し、下有住地区の新たな交流拠点の完成を盛大に祝いました。

落成式では、多田町長が「下有住は、自然と人に恵まれた活力あふれる素晴らしい地域です。今後、地区公民館を拠点としたさらなる活動で、日本一の地域づくりを目指してください」と式辞を述べ、その後、地域住民らにより看板の除幕が行われました。



▲勇壮な舞を披露した「月山鹿踊り」

引き続き行われた祝賀会では、「月山鹿踊り」がオープニングを飾り、その後、金野館長が「公民館という建物は、完成して終わりではなく、多くの方に利用されて初めて意味がある場所です。ここを下有住地区住民が集う拠点として、ともに築いていきましょう」とあいさつをしました。

出席した住民らは、地域のさらなる発展を誓いながら、新築された建物でさっそく交流を深めていました。

アナウンサーの河辺邦博さんが講演  
「目で話す。〜全ては対話から始まる〜」



IBCアナウンス学院 学院長  
河辺 邦博 さん

東京都渋谷区出身。国学院大学卒業後、IBCに入社。「ニュースエコー」のメインキャスターなど数多くの番組を担当しました。

6月2日、町農林会館大ホールで、IBCアナウンス学院学院長を務める河辺邦博さんの講演会が開かれました。

この講演会は、町教育委員会と町婦人団体連絡協議会（佐々木偕子会長）の共催事業として開かれたもので、約200名の参加者は河辺さんのユーモアあふれる話に、時折笑みを浮かべながら聞き入っていました。

「目で話す。〜全ては対話から始まる〜」と題した講演で河辺さんは、東日本大震災の現地取材など、自らの実体験を交えながら、「相手の目を見て対話をする」というコミュニケーションは、人間に

しかできない素晴らしい方法」と話しました。

また、今の若い世代の人たちの「伝える・考える能力」が落ちていくと指摘し、それは、本人だけの問題ではなく、「あれ」や「それ」などの言葉で物事を理解するようになってしまった周りの大人にも原因があると問題を提起しました。

最後に、河辺さんは「一を聞いて十を知る」のではなく、「十を聞いて一を知る」ことを心がけ、「多くの対話を通じて、言葉の素晴らしさをもっと知ってほしい」と結び、盛大な拍手に包まれる中、講演会は終了しました。

プロの演奏にうっとり  
有住小でコンサート



▲プロの美しい演奏に聞き入る児童たち

6月5日、有住小学校（佐々木英雄校長）で訪問ミニコンサートが開かれ、児童はプロの演奏家による美しい演奏に聞き入りました。

コンサートは、(株)豊田自動織機（豊田鐵郎取締役会長）とNPO法人「子どもに音楽を」（徳永扶美子理事長）が音楽に触れることで豊かな心を育成してほしいと、全国各地の学校に演奏家を派遣しているもので、この日はバイオリニスト松山冴花さんとピアニスト居福健太郎さんが訪れました。

演奏を聞いた藤井天翔さん（5年）は「プロの演奏は迫力があり、楽器同士の一体感がすごかった」と興奮気味に話していました。

住田への感謝の気持ち  
愛知ネットより寄付金



▲天野理事長より目録を受け取る多田町長

6月18日、本町を拠点に被災地支援活動を行っているNPO法人愛知ネット（天野竹行理事長）より、町に100万円の寄付金が寄せられました。

愛知ネットの支援活動は、震災発生直後から行われており、今回活動開始から2年が経過し、活動拠点を提供する本町への感謝の気持ちとして寄付金が贈られたものです。

目録を受け取った多田町長は、「被災地支援だけでなく、住民とのつながりを大切にしながら地域の活性化にも支援をいただいていることに感謝します」と御礼の言葉を述べました。

森の達人講座がスタート

6月16日、種山ヶ原を会場に目指せ森の達人（マイスター）講座（全9回）が開講しました。

この講座は、住田の森について学び、触れる機会を提供しようと町教育委員会が主催したもので、第1回目となったこの日、町内外から24名が参加しました。

この日は、シェアリングネイチャー協会の近谷正広さんを講師に迎え、参加者らは自然環境の中で行う「ファイールドビンゴゲーム」などのネイチャーゲームを通じて、住田の豊かな自然の魅力を体感していました。



▲木をまねて伝えるゲーム「木のシルエット」

「食事って楽しいね」  
県食育キャラバン実施

6月18日、世田米保育園で県食育普及啓発キャラバンが行われ、園児らは紙芝居などを通じ、食事の楽しさを学びました。

キャラバンは、乳幼児期に食育の重要性を知ってもらおうと、6月の食育月間にあわせて県が実施しているもので、この日は、県栄養士会による食事をテーマにした紙芝居や、上手な歯の磨き方を歌に乗せてわかりやすく伝えるビデオの上映会などが行われました。

齊藤由芽ちゃん（4歳）は、「好き嫌いがなくて、これからもいっぱいご飯を食べて、きれいに歯磨きをしたいです」と元気に話していました。



▲食事がテーマの紙芝居に夢中の園児

# 議会 6月議会定例会

6月定例会が6月11日から17日までの7日間の会期で開かれ、町職員などの給与を平成26年3月分まで減額する条例が議決されたほか、補正予算案などが審議されました。

## 報告

▼平成24年度繰越明許費繰越計算書の報告  
一般会計翌年度繰越額7億9,540万7千円および簡易水道事業特別会計翌年度繰越額1,876万6千円の繰越明許費の計算書を報告しました。

## 補正予算

平成24年度の一般会計の補正予算の専決処分を承認し、次の表のとおりとなりました。



平成24年度補正予算（専決処分）

会計別	補正額	予算額
一般会計（第10号）	1億3,849万円	56億5,262万7千円

## 条例

▼住田町税条例の一部を改正する条例の専決処分を承認

地方税法の一部改正に伴い、住宅ローン控除の適用期限の延長など所要の改正をしました。

▼住田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分を承認

地方税法および国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、特定継続世帯における特例を定めることについて所要の改正をしました。

▼過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分を承認

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、課税免除となる対象資産の取得期間の延長など所要の改正をしました。

## 議決

▼住田町職員の給与の臨時特例に関する条例を可決

平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、職員の給料月額から1・1

### ■発見の経緯について

5月2日、航空調査により世田米字田畑、窪田、川向、向村、津付地内でそれぞれアカマツ枯死木が発見されました。

町では5月24日と31日に5カ所8本の枯死木から材片を採取し、県林業技術センターで分析したところ、津付を除く4カ所6本からマツノザイセンチュウが検出されたため、松くい虫被害による枯死と判定されました。

### ■今後の対応について

今後は、町と関係機関が連携し、別の被害個所の早期発見のための監視体制の強化や、被害木の徹底駆除などにより周辺への被害拡大防止に努めていきます。

※松くい虫被害が発生している市町村  
盛岡市、矢巾町、紫波町、花巻市、北上市、奥州市、金ケ崎町、一関市、平泉町、大船渡市、陸前高田市、遠野市、住田町（13市町村）

# 松くい虫被害防止にご協力をお願いします

松くい虫被害は、すでに近隣の市町村でも発生しており、本町の被害も既存の被害発生個所から伝染したものと考えられます。なお、発見された枯死木は、早急に町で駆除を行います。

【松くい虫被害位置図】



パーセント減額する、住田町職員の給与の臨時特例に関する条例を定めることについて可決しました。

▼特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を可決

国家公務員の給与減額支給措置などを考慮し、町長および副町長の給料月額を平成25年7月支給分から平成26年3月支給分までの間、減額をすることについて、所要の改正をしました。

▼教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例を可決

国家公務員の給与減額支給措置などを考慮し、教育長の給料月額を平成25年7月支給分から平成26年3月支給分までの間、減額をすることについて、所要の改正をしました。

## 請願

▼生活道・小台線の町道認定と改良舗装工事についての請願を採択

▼「生活保護基準の引き下げはしないこと」の意見書提出を国に求める請願

願を不採択

▼消費税増税に反対する請願を不採択

▼安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願を継続審査

## 補正予算

平成25年度一般会計、特別会計の補正予算の議案を可決し、左表のとおりとなりました。

平成25年度補正予算

会計別	補正額	予算額
一般会計（第1号）	4,373万3千円	57億1,173万3千円
一般会計（第2号）	△1,560万円	56億9,613万3千円
特別会計		
国民健康保険（第1号）	235万9千円	8億8,616万7千円
介護保険（保険事業）（第1号）	40万1千円	7億5,086万6千円
簡易水道事業（第1号）	△5万1千円	1億7,396万7千円
下水道事業（第1号）	△5万3千円	1億1,902万7千円

### ■松くい虫被害

松くい虫被害は「マツ材線虫病」と呼ばれる伝染病です。

体長1ミリにも満たない小さな線虫マツノザイセンチュウが、アカマツの木の中で繁殖して枯死させます。

この線虫を運ぶのが体長2・5〜3センチほどのマツノマダラカミキリです。マツノマダラカミ



マツノザイセンチュウ



マツノマダラカミキリ

### ■枯れたアカマツの情報収集にご協力ください

松くい虫被害に感染したアカマツを放置すると周りに伝染する恐れがあります。枯れたアカマツを発見した場合は、産業振興課まで

ご連絡ください。

【問い合わせ】

産業振興課森林林業  
日本一の町推進係  
☎ 46-3861

# 地域住民活動情報

## 平成25年度 みんなでできる町づくり事業補助金 採択内容

★問い合わせ  
町づくり推進課  
企画調査係  
☎46-2114 (内線223)

4つの団体から申請が出され、6月10日に審査会が行われました。採択された内容は次のとおりです。

事業名	事業主体	代表者 (会員数)	補助金申請額 (交付決定額)	事業内容
音楽を通じた世代間交流プロジェクト ※新規事業	SUMITA 音楽サークル 「音蔵」	篠原 毅 (7人)	300,000円 (300,000円)	①活動する音楽団体の募集・育成 ②練習場所の整備・提供、貸し出し用楽器の購入 など 【目標：蔵を活用した音楽イベントの企画・開催】
住田の食材 de 町を元気に ※継続事業 (2年目)	住田食材研究会	及川 喜悦 (5人)	240,000円 (240,000円)	①住田食材の発掘 ②川床の試作 など 【目標：住田食材20種を使った料理の開発】
技術向上と児童生徒への大正琴指導育成事業 ※継続事業 (3年目)	琴伝流大正琴すみた かつこ花の会	佐藤 マツエ (19人)	300,000円 (300,000円)	①土曜日教室 (小学生) の開催 ②クラブ活動指導 (中学生) 実施 など 【目標：児童・生徒の大正琴ビデオコンクール入賞】
ま〜ぶる図書と人を結ぶ ♥コーディネート事業 ※継続事業 (3年目)	図書環境コーナー ま〜ぶる	松田 千秋 (11人)	300,000円 (300,000円)	①作家朗読劇の開催 ②「住田いいところカルタ」大会の開催 など 【目標：図書を活かせるイベントの開催】

- 平成25年度  
みんなでできる町づくり事業補助金  
第2次募集のお知らせ
- 募集期間 6月18日(木)〜7月8日(月)
- 町総合計画の基本姿勢である「安心して暮らすことのできる地域」の実現のため、地域の課題解決などに取り組む町民による町づくり事業を支援します。
- ▽対象団体
    - ①5人以上の町民で組織。
    - ②活動拠点、または活動範囲が町内の組織。
    - ③地域全体に寄与することを目的としている事業
    - ④営利を目的としない事業
    - ⑤地域の課題解決や安心して暮らせる地域づくりを目的とした自由発想によるソフト事業
  - ▽対象経費
    - ①原則3年間継続する事業
    - ②講師謝金や旅費、原材料費など事業実施に必要と認められる経費
  - ▽対象外
    - ①国・県などの他の補助事業に該当するもの
    - ②過去に町が実施した町づくり事業補助金の交付を受けた事業
  - ▽審査会
    - ①補助率 新規団体 10 / 10
    - ②補助率 継続団体 4 / 5
    - ③補助率 継続団体 3 / 4
    - ④補助率 1事業あたり30万円
  - ▽申請書類
    - ①申請者の提案説明による審査会を行います。その結果を考慮して町長が補助金の交付決定をします。
    - ②申請用紙は町づくり推進課に用意してあります。
    - ③※町のホームページからもダウンロードできます。
  - ▽問い合わせ
    - ☎46-2114
    - 町づくり推進課企画調査係

## 潤いのある美しいふるさとづくり

平成25年度花いっぱいコンクールを開催します

### 本年度より「個人の部」・「企業の部」を新設!



【昨年度、最優秀賞を受賞した  
恵山自治公民館の花壇】

	最優秀賞	優秀賞	努力賞
公民館の部	1	3	5
学校・保育園の部	1	1	1
個人の部【新設】	1	2	3
企業の部【新設】	1	2	3

※上記とは別に特別賞を設ける場合があります。  
※各賞の数は参加状況等により変更する場合があります。

【募集対象】  
公民館、学校・保育園、個人、企業など  
【審査】  
現地審査を行い、次の賞を選出します。

【審査内容】  
育成状況、花壇の設計、環境美化への貢献度、管理状況  
総合評価  
【審査期日】  
8月23日(金)  
※変更の場合あり

【表彰】  
入賞者は、まちづくり大会において表彰の予定です。

【その他】  
花の種類は限定しません。

【申し込み先】  
教育委員会生涯学習係

【申し込み方法】  
教育委員会生涯学習係・上  
有住地区公民館・下有住地区  
公民館にある申込用紙で申し  
込みください。

【申し込み期限】  
8月7日(水)

【問い合わせ】  
教育委員会生涯学習係  
☎46-3863

皆さまのご参加  
お待ちしております!

## 6月は、男女雇用機会均等月間です!

いきいきと働く女性が企業の宝です!男女労働者間の真の均等のための取組みを実施することで、会社の活力を生み出します。これを機にポジティブ・アクションに取り組み、女性がスキルアップを図りつつ活躍できる職場づくりをめざしましょう。まずは、ポジティブ・アクションポータルサイトで取組宣言!

<http://www.positiveaction.jp>



■書名 時宗 巻の吉 乱星  
■著者名 高橋克彦

蒙古襲来の時代。源頼朝亡き後、政治の実権は北条家に移り抗争はなお続く。「北条を継ぐ者に安寧はない。地獄の道だ」…病に苦しむ兄から幕府を託された時頼。国内、国外の敵をしりぞき、怒涛のような時代を生き抜く北条父子の物語。(一般向け)



■書名 ぐうたら道をはじめます  
■著者名 たきしたえいこ

「ねこだったらいいなあ。一日中ぐうたらしてても、もんくを言われないしさ」と小学5年生の真由がソファでぐうたらしようとする、見知らぬ先客の白いネコに「いいお日和ですわねえ」と話しかけられ…。(幼児・児童向け)



■新着図書紹介  
(中央公民館図書室)



## ■住田型復興モデル住宅構造見学会の開催

町では、耐震性・省エネルギー性・耐久性などの9つの厳しい性能項目をクリアした復興モデル住宅（長期優良住宅）の建設を、地域材などの供給から設計、施工に至るまでの関連業者で構成される住田型地域住宅生産者グループと連携し、進めています。

見学会では、完成してからでは見られない骨組みや基礎の構造見学などが可能ですので、これからの皆さまの住まいづくりのヒントに、どうぞ気軽にお越しください。

**日時：7月13日（土）10:00～15:00**

★会場 世田米字川向地内（運動公園東側）

★その他

参加申し込みは不要ですので、希望する方は、直接、会場へお越しください。

★問い合わせ 建設課 ☎46-2111（内線212）



### 職業能力開発セミナーの開催

在職者を対象に知識と技術の向上を目的として、セミナーを開催します。

■社員研修系

中堅社員としての役割行動、問題発見と課題解決の手法などを学びます。

①日時 7月18～19日（2日間）

②定員 20名

③場所 気仙高等職業訓練校（大船渡市盛町みどり町13-4）

■資格取得系

宅地建物取引主任者試験を初めて受験する方を対象とした、宅地・建物売買業務などの基礎知識を学ぶセミナーです。

①日時 7月25～26日（2日間）

②定員 20名

③場所 気仙高等職業訓練校

★申し込み・問い合わせ

県立産業技術短期大学校 水沢校 ☎0197-22-4427

### 森林の伐採、開発には手続きが必要です

森林を伐採、または林地を開発する際は、事前に届け出や許可申請などの手続きが必要となります。

森林の伐採や林地の開発計画がありましたら、担当課までご連絡ください。

★問い合わせ

①保安林以外の森林での立木の伐採

※面積に関係なく届け出が必要

役場産業振興課林政係

☎46-3861

②保安林での立木の伐採や土地の形質の変更

③保安林以外の森林での1haを超える開発行為

大船渡農林振興センター

森林保全課 ☎27-9914

### 電動生ごみ処理機購入に係る補助金

町公衆衛生組合連合会では、生ごみの減量化や資源化を目的として、家庭用電動生ごみ処理機の購入費用に対し、補助を行います。

★補助率

購入費の3/1（限度額2万円）

★募集期間

7月1日（月）～12月20日（金）

★条件

①小売店での購入  
②1世帯あたり1台の補助

★申請に必要なもの

印鑑、見積書、カタログなど

★注意事項

購入前の事前申請が必要となります。（申請書は役場町民生活課にあります）

★問い合わせ

町公衆衛生組合連合会事務局（町民生活課住民環境係内）

☎46-2111（内線133）

### 住田町夏まつりの開催

住田の夏を彩る「住田町夏まつり」を次のとおり開催します。町内外問わず、どなたでも気軽に参加できるお祭りですので、ぜひ会場に足をお運びください。

★日時

7月27日（土）16:30～21:00（雨天の場合は、28日（日）となります。）

★場所

世田米商店街（16時から21時30分まで歩行者天国となります。）

★内容（予定）

道中踊り、各種団体のよさこい踊り、郷土芸能の披露、夢灯り、餅まき、五葉山火縄銃鉄砲隊演武、花火大会など。※詳細は決まり次第、別途お知らせします。

★問い合わせ

住田町観光協会 ☎46-2111（内線317）

### お盆前のし尿くみ取りはお早めに！

例年、お盆前はくみ取りの申し込みが集中しますので、7月中のくみ取りにご協力ください。

★お盆休み期間

8月14日（水）～8月18日（日）

★受付時間

8時～17時（月～金曜日）

★申し込み先

（有）気仙広域清掃

TEL 27-9321

FAX 27-1145

※FAXでの申し込みの場合、住所・氏名・電話番号を明記の上、お送りください。

### 緑の募金運動のお礼

平成25年度緑の募金運動に対し、町民の皆さまから、181,500円の募金をお寄せいただきました。

募金は、7月に開催される岩手県緑の少年団大会活動費のほか、県及び本町の緑化推進活動費などの一部として役立てられることとなります。

今後も本町の緑化推進活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。

★問い合わせ

岩手県緑化推進委員会 住田支部（役場産業振興課内） ☎46-3861（内線323）

### 原子力発電所事故に伴う損害賠償等説明会の開催

東京電力㈱の担当者が出席し、損害賠償などに係る説明会を開催します。また、説明会終了後は個別相談にも応じます。

★日時

7月11日（木）19:00～

★会場

町農林会館 多目的ホール

★参集範囲

農林漁業者、農林水産物の加工・流通業者、商工・観光業者

★説明内容

・放射能汚染損害賠償の現状報告と今後の対応

★その他

個別相談を希望される方は、事前に申し込みください。

★申し込み・問い合わせ

産業振興課安全農業推進係 ☎46-2111（内線314）

### 法テラス相談日のお知らせ

法テラスでは7月から夜間と休日の弁護士相談を始めます。東日本大震災の際、県内に住所を有していた方は、相談内容に関わらず、無料で法律相談が利用できます。なお、予約の方を優先します。

★法律相談・専門家相談

■相談担当者との相談日

①弁護士 毎週 月・火・木・金曜日

②司法書士 毎週 水曜日

③行政書士・社会保険労務士・税理士

7月10日（水）、24日（水）

■時間

10:00～16:00

■場所

法テラス気仙（大船渡市盛町字津野沢9-5）

★巡回相談

■相談担当者との相談日時

①司法書士 7月2日（火）10:00～15:00

■場所

町農林会館

★夜間相談・休日相談 [新規]

■相談担当者との相談日

①弁護士（夜間相談）

7月18日（木）18:00～20:00

②弁護士（休日相談）

7月21日（日）10:00～16:00

■場所

法テラス気仙

★申し込み・問い合わせ

法テラス気仙 ☎050-3383-1402

住田のすまい

住田住宅産業(株) ☎46-2465

岩手県住田町産 ありすぽーく

地産地消 生産農場

有ありす畜産

TEL0192(48)2019

R107 ありす畜産直売所 TEL0192(46)2286

COOP いわて こんにちわ！いわて生協です！

お家でお買い物

個人宅配

はじめませんか

◎重い物、かさばる物も玄関先まで配達します。

◎配達料が安くなる個配優遇制度 子育てサポート・高齢者優遇 介護者優遇・障がい者優遇があります。（240円→100円）

☎0120-263-957（通話料無料）

いわて生協せき支部 大船渡市盛町字馬場23-5

情報家電のことなら お任せください！

地デジ DIGITAL

(有)ハーネット

http://www.a-hanet.co.jp

住田町世田米字川向12-1

☎46-2363 FAX 49-1015

※「お祝いお悔やみ」「とびだせちびっ子」は、承諾を得た方だけ掲載しています。

# お祝いお悔やみ

5月届出分（敬称略）

## お誕生おめでとう

住所 子の名前 性別 親の名前  
 十文字 紺野 丞太郎 男 幸太=久美子  
 世田米駅 菅村 優士 男 強=いずみ

## お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
小口洞	佐藤 多喜男	87	紗紀
中上	今野 昭男	74	一昭
狐石	吉田 アサ	83	昭一
二度成木	皆川 俊夫	71	富也
和田野	佐藤 サトシ	90	本人
二度成木	佐々木 サトエ	83	安三郎
小松	及川 良美	93	良一
小府金	佐々木 實	77	由文
奥新切	杉下 モリ	83	福太郎
小府金	紺野 ヤヨ子	81	克彦
大崎	菅野 ハツノ	86	泰男

### 町民の動き ( )内は前月比 平成25年5月末日現在

人口 6,191人 ( - )  
 男 3,007人 ( -1 )  
 女 3,184人 ( 1 )  
 世帯数 2,260世帯 ( 10 )

## 交通安全情報 5月末日現在 ( )内は年累計

人身事故 4件 ( 8件 )  
 物損事故 8件 ( 68件 )  
 飲酒運転検挙者 0人 ( 0人 )  
 『子どもと高齢者に対する思いやり運転を』

な発のは▽みはでたしんが  
 い揮は訓でもたいいつできる時にたが  
 こすは訓練もいつもよう迅速に災加  
 とる練の何とところ真う訓に害して  
 機成のよるる剣訓練にが起い  
 会果願でにに動きま  
 が。が果願でにに動きま  
 泉来をうす



民多訓総  
 の数練合23  
 ののに防日  
 さ町は災の

□発行住田町  
 □〒029-2396  
 岩手県気仙郡住田町世田米字川向96番地1  
 ☎0192-46-2111(代) FAX0192-46-3515  
 □URL <http://www.town.sumita.iwate.jp/>  
 □E-Mail [sumita@town.sumita.iwate.jp](mailto:sumita@town.sumita.iwate.jp)

# とびだせちびっ子



178

◇このコーナーでは、町内のかわいい1歳児をご紹介します

『両親から  
 『ビッグな男になれよ!』』



佐々木 夢稀 くん(男)  
 (龍馬さん・杏葉さん・山脈地)

『お母さんから  
 『いっばい笑って  
 いっばい遊ぼうね』』



菅野 翔吾 くん(男)  
 (勇さん・美紀さん：日向)

『お父さんから  
 『いっばい食べて遊んで  
 元気な子になつてね』』



藤島 愛結 ちゃん(女)  
 (佑樹さん・知子さん：二度成木)

( )内は保護者名：地区名

## 7月の休日当番医

日	医療機関名	地区	電話番号
7日(日)	鳥羽整形外科医院	盛	27-1280
14日(日)	山崎内科医院	盛	26-4448
15日(月)	うのうらクリニック	盛	21-3636
21日(日)	広田診療所	高田	56-2515
28日(日)	鵜浦医院	高田	55-2125

日	医療機関名	地区	電話番号
7日(日)	吉田歯科医院	高田	54-4566
14日(日)	きかわだ歯科クリニック	小友	57-1188
15日(月)	細川歯科医院	大船渡	27-4158
21日(日)	細川歯科医院	大船渡	27-4158
28日(日)	橋爪歯科	大船渡	27-8282

広報すみた 平成25年6月28日(16)



古紙配合率100%  
 再生紙を使用しています